

指導者 [ ] (T1)

[ ] (T2)

- 1 日 時 令和元年 5月21日(火) 5限
- 2 単 元 名 「どこに行く?何をする?～予定をたずねたり伝えたりしよう～」  
Unit 2 A Trip to the U.K. (7時間完了)
- 3 場 所 2年1組教室
- 4 単元目標

- ・未来を表す be going to 及び既習の表現を使って、休暇や週末の予定について、積極的に相手に伝えようとする事ができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・未来を表す be going to 及び既習の表現を使って、休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。 (表現)
- ・聞いたり、読んだりして、光太のイギリス旅行や友達の休暇や週末の予定について、理解することができる。 (理解)
- ・未来を表す be going to, show+A+B, call+A+B の形、意味、用法を理解し、場面に適した表現を選択して使用することができる。 (知識・理解)

5 題材について

(1) 題材観

本単元では、中学2年生の光太がイギリス旅行に行く様子が描かれている。未来を表す「be going to～」を使って光太が自分の予定を伝えている。1年生の学習では、自分の好きなものや家族のこと、生活などの事実を伝え合っていたが、既に知っている情報のやり取りになることが多かった。本単元で未来を表す表現を学習することで、予定や計画など、互いにまだ知らない情報を伝え合うことができるようになる。また、今年9月に豊田市で開かれるラグビーワールドカップや、来年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて外国を身近に感じる機会が増える中、光太のイギリス旅行に触れることで、外国の文化や自国の文化を伝えることへの興味を広げる機会としたい。

(2) 生徒観

本学級は、[ ]名の学級である。4月に行ったALTとの授業では、ALTの春休みについてのスピーチに興味をもち、積極的に質問することができた。一方、Small Talkでは、何を話していいかわからない様子が見られるなど、会話を続けることが難しい生徒が多くいたが、練習を重ねることで少しずつ会話のやりとりが増えている。

外国籍生徒のうち[ ]名は日本で生まれており、渡航経験はない。事前のアンケート調査では、自分のルーツがある国を訪れてみたいと答えている。また、日本人生徒で渡航経験のない生徒は9名で、そのうち8名は行ってみたい国があると答えている。外国に行ってみてみたいとは思わないと答えた生徒は1名のみで、ほとんどの生徒は、何らかの形で外国への興味をもっていることから、本単元への関心も深まることが期待される。

(3) 指導観

ア 研究主題「社会に目をむけ、思いを伝え合う生徒の育成」との関わり

本校の英語科の到達目標は、「社会で起こっている様々な事に関心をもち、それらの事からについて自分の思いや考えを伝え合える生徒の育成」である。この目標の達成をめざし、本年度の目標を「ある話題について自分の意見をもち、相手を意識して伝える生徒の育成」とした。1年時に培った「自分のことや身の周りのことを、相手意識をもって伝えようとする姿勢」に加え、本年度は自分を取り巻く地域社会や外国など外の世界へ視野を広げる中で、より多くのことに関心をもち、新しいことを知りたい、自分の知っていることや思いを伝えたいという意識を高めさせ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする素地を養いたい。

イ 手立て

- ①単元の導入や授業のウォーミングアップとして外国クイズを行い、日本とは違う外国の建物や食べ物に興味をもたせるとともに、クイズ形式の問題に答えることで、気軽に英語を話す雰囲気をつくる。
- ②外国語クイズの内容を Small Talk のトピックにつなげることで、友達との話題を広げやすいようにする。また、既習の相づちや繰り返しなど、コミュニケーションを円滑にする表現を使うことで、会話を続けたり話題を広げたりするコミュニケーションの楽しさを味わわせる。
- ③単元の終わりに夏休みの予定を友達に伝える場面を設定し、Small Talk や会話練習で身に付けたことを実践することで、自分のことを英語で伝えることができた実感し、次への意欲につなげる。

6 単元の指導計画（本時 5 / 7）※ユニバーサルデザインの授業における3つの視点

視（視覚化） 共（共有化） 焦（焦点化）

時	学 習 活 動	教師の支援
1	<p>◇Small Talk ◆新出表現を使った会話練習や活動 * New Horizon では未習だが、HF・WC で扱う表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国クイズ①</li> <li>◇Small Talk①「行きたい国は？」 【Interactive Teacher Talk】 T: I want to* go to China*. Which country do you want to go? S: Korea*. T: You want to go to Korea. Why*? 【S-S Interaction①】 ペアで会話をする。</li> <li>・未来を表す表現「be going to～」の導入 「夏休みに行けるとしたら、どこに行く？」 T: Which country are you going to visit during summer vacation? S: Korea. T: You are going to visit Korea. Why? S: I like Kpop.</li> <li>◆未来を表す表現「be going to～」の練習 友達に自分が行く予定の国について伝える。</li> <li>・振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズを通して外国についての興味をもたせ、気軽に英語を話す雰囲気を作る。 【手立て①】 視</li> <li>・外国クイズの内容を Small Talk の話題につなげる。【手立て②】</li> <li>・相づちや繰り返しなど、コミュニケーションを円滑にする表現を教師が意図的に使用する。【手立て②】</li> <li>・生徒の間違いは、教師が正しい表現を言い直すことで意識させる。</li> <li>・未来を表す be going to を使用して教師は質問するが、生徒には求めず、予定や理由など会話の内容を広げることが教師は意識する。【手立て②】</li> <li>・外国クイズで使った写真を用いて十分に口頭練習をした後に、自分の予定を伝える活動を行う。</li> <li>・「I am going to visit」のカードを黒板に示して、生徒に新出表現を意識させるが、書く指導は次時以降に行う。焦</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国クイズ②</li> <li>◇Small Talk②「行ってみたい国は？」 【Interactive Teacher Talk】 Which county do you want to go? 【S-S Interaction①】 ペアで会話をする。</li> <li>【Sharing】 【S-S Interaction②】 同じペアで会話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【手立て①】 視</li> <li>・【手立て②】</li> <li>・教師は、広めたいやり取りをされると思われる生徒の様子を確認したり、活動が停滞しそうな生徒の支援をする。</li> <li>・相づちや繰り返しなどコミュニケーションを円滑にする工夫をしていた生徒を</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教材を視聴し、光太のゴールデンウィークの予定を知る。(教科書 p 1 8)</li> <li>未来を表す表現「be going to～」の確認、練習</li> <li>◆週末の予定を友達に伝え、伝えたことを書く。 S1: I'm going to play tennis on Saturday. How about you? S2: I'm going to play soccer on Saturday. S1: Oh, I see.</li> <li>振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り上げ全体に広げる。【手立て②】<b>共</b></li> <li>旅のスケジュール(教科書 p 2 5)を示し、自分達も光太と一緒にイギリスに行くという設定を伝え、教材への興味をもたせる。</li> <li>教師のモデルを通して、相づちや反応をすることでコミュニケーションが円滑になることを確認する。【手立て②】<b>共</b></li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国クイズ③</li> <li>◇Small Talk③「好きな食べ物は？」 【Interactive Teacher Talk】 What food do you like? 【S-S Interaction①】友達と会話をする。</li> <li>【Sharing】会話で困ったことを伝える。</li> <li>【S-S Interaction②】同じペアで会話をする。</li> <li>デジタル教材を視聴し、入国審査で何を尋ねられるかを知る。(教科書 p 2 0)</li> <li>◆入国審査での会話の練習 友達とペアで練習をする。</li> <li>「show+人+もの」の表現の確認、練習</li> <li>振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【手立て①】<b>視</b></li> <li>【手立て②】</li> <li>教師自身も対話に加わり、楽しい雰囲気づくりに貢献したり、よい聞き手のモデルになったりする。【手立て②】</li> <li>会話で困ったことを生徒に尋ね、既習表現でどのように言い換えるとよいかを生徒が考える場を設定する。<b>共</b></li> <li>前時に配付したスケジュールを使って、「What time are <b>you</b> going to leave Japan?」と質問することで、イギリスに行くために入国審査が必要なことを生徒に実感させたり、未来を表す表現の確認をしたりする。</li> <li>係員役は教科書を見てもよいが、光太役は実際の入国審査で使えるようになるべく教科書を見ないで練習するよう指示する。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国クイズ④</li> <li>旅のスケジュールを確認する。 T: Are you going to ~? / Is Kota going to ~? / What are you going to ~? S: Yes, I am. / No, he isn't. / I'm going to ~.</li> <li>デジタル教材を視聴し、2日目の予定やロンドンの観光地について知る。(教科書 p 2 2)</li> <li>「call+A+B」の表現の確認、練習</li> <li>◆週末の予定について友達に尋ね、友達の予定を書く。 S1: What are you going to do on Sunday? S2: I'm going to play soccer on Sunday. S1: Where are you going to play soccer? →「S1 is going to play soccer on Sunday.」とワークシートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラグビーワールドカップで豊田市で試合をする国を取り上げる。【手だて①】<b>視</b></li> <li>スケジュールの確認を通して、未来を表す表現を復習する。</li> <li>教師が数人の生徒と会話し、モデルを示す。教師は、生徒の答えからさらに質問をし、会話を続ける方法を生徒にイメージさせる。【手だて②】</li> <li>会話を続ける工夫をしている生徒を紹介し、広める。【手だて②】<b>共</b></li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを書く。</li> </ul>	
5 本 時	<p>◇Small Talk④「好きな食べ物は？」 【Interactive Teacher Talk】 What food do you like? 【S-S Interaction①】 ペアで会話をする。</p> <p>【Sharing】 会話で困ったことを伝える。 【S-S Interaction②】 違うペアで会話をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行のスケジュールを確認する。 T: Are you going to take a train? S: Yes, I am. T: What time are you going to take a train? T: What did you see in London? S: We saw Big Ben. T: What is Big Ben?</li> <li>・デジタル教材を視聴し、3日目の予定やオックスフォードの観光地について知る。(教科書 p 24)</li> <li>・週末の予定について友達に尋ね、友達の予定を書く。 S1: What are you going to do on Sunday? S2: I'm going to go shopping on Sunday. S1: What are you going to buy?</li> <li>・次の時間の課題を知る。</li> <li>・振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【手だて②】 共</li> <li>・教師自身も対話に加わり、よい聞き手のモデルになったりする。【手だて②】</li> <li>・会話で困ったことを生徒に尋ね、既習表現でどのように言い換えるとよいかを生徒が考える場を設定する。共</li> <li>・スケジュールを確認しながら、未来を表す表現だけでなく、既習事項の定着を図る。焦</li> <li>・教師は、生徒の答えに対して、必ず反応し、よい聞き手のモデルを示す。</li> <li>・教師が数人の生徒と会話し、モデルを示す。教師は、生徒の答えからさらに質問をし、会話を続ける方法を生徒にイメージさせる。【手だて②】 共</li> <li>・次時のインタビュー活動で使用できる表現を使う。【手だて③】 焦</li> <li>・次の時間は、夏休みの自分の予定について友達に伝えることを知らせる。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を確認する。 T1: Where are you going to go during summer vacation? T2: I'm going to America during summer vacation. T1: What are you going to see in America? T2: I'm going to see the Statue of Liberty.</li> <li>・自分の夏休みの予定表を作る。</li> <li>・予定表を元に、ペアで会話する。 S1: Where are you going to visit? S2: I'm going to visit Korea.</li> <li>・振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が自分の夏休みの予定を伝え、本時の課題を確認するとともに、何を話してよいか思いつかない生徒にイメージをもたせる。</li> <li>・英文ではなく、メモで自分の予定を書くよう指示する。</li> <li>・生徒がコミュニケーションを円滑にする表現を使ったり会話を広げたりしているか、机間指導をして確認する。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題を確認する。 「自分の夏休みの予定を書いてALTに伝えよう」</li> <li>・前時に作成した予定表を元に、友達と会話する。</li> <li>・ワークシートに自分の夏休みの予定を書く。</li> <li>・振り返りを書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTに伝える活動にすることで、相手意識をもって内容を工夫できるようにする。</li> <li>・前時と同じ活動を違うペアで行い、友達との会話を思い出すことで、「書く活動」にスムーズに取り組めるようにする。</li> <li>・後日、ALTが生徒のワークシートにコメントを記入する。</li> </ul>

7 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・未来を表す be going to を使って、週末の予定について、積極的にたずねたり伝えたりしようとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・未来を表す be going to を使って、週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。 (表現)
- ・聞いたり読んだりして、光太の旅行について理解することができる。 (理解)
- ・未来を表す be going to を正しく使って、友達の週末の予定を書くことができる。 (知識・理解)

(2) 学習の準備

教師：ワークシート、タイマー、振り返り用紙

生徒：教科書

(3) 本時の学習過程

時間	学習活動	教師の支援
活用する 10分	1 あいさつをする。 2 Small Talk④「好きな食べ物は？」 S1: What food do you like? S2: I like chocolate. S1: You like chocolate. I like chocolate, too.	・T2は基本的に外国籍生徒を個別に支援する。 ・T1も対話に加わり、楽しい雰囲気づくりに貢献したり、よい聞き手のモデルになったりする。【手立て②】 ・会話で困ったことを生徒に尋ね、既習表現でどのように言い換えるとよいかを生徒が考える場を設定する。【共】
深める 20分	<b>イギリス観光3日目の予定を確認しよう</b>	
	3 旅のスケジュールを確認する。 (1)旅のスケジュール(教科書 p25)を見ながら、教師の質問に答える。 T: Did you leave Narita at 12:20? What time did you leave Narita? Are you going to visit Oxford? (2)デジタル教材を視聴し、3日目の予定やオックスフォードの観光地について知る。	・T1の質問に答えながら前時までの内容を確認するだけでなく、様々な形の疑問文に答えることで、既習事項の定着を図る。【焦】 ・スケジュールにある「do some sightseeing」とは何かを聞き取ったり読み取ったりするよう伝える。【視】
学び合う 10分	4 週末の予定についてたずね、友達の予定を書く。 (1)教師のモデルを見る。 T1: Where are you going to visit? T2: I'm going to visit Okinawa. T1: You are going to visit Okinawa. When are you going to visit there? (2)週末の予定について友達にたずねる。 (3)友達の予定をワークシートに書く。 I'm going to~. → S1 is going to~.	・T1とT2がモデルの会話を示した後、数人の生徒に質問することで、インタビューで使う表現や答え方を理解できたか確認する。【共】 ・単元末のインタビュー活動で使用できる表現を使う。【手だて③】【焦】 ・主語に合わせて正しいbe動詞を書くことができたか机間指導で確認する。
振り返る 5分	5 次時の課題を知り、本時の学習を振り返る。	・次時は、夏休みの予定について友達にたずねたり伝えたりすることを知らせる。

#### (4) 評価

- ・未来を表す be going to を使って、週末の予定について、積極的に質問したり伝えたりしようとする  
ことができたか。(会話の様子・振り返り用紙)
- ・未来を表す be going to を使って、週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができた  
か。(会話の様子・振り返り用紙)
- ・デジタル教材を視聴したり教科書を読んだりして、光太の旅行について理解することができたか。  
(Q & Aの様子)
- ・週末の予定について友達に質問して分かったことを、未来を表す be going to を正しく使って、書  
くことができたか。(ワークシートより)